

市長初登庁セレモニーのお知らせ

任期満了に伴う本庄市長選挙において、無投票で6選した吉田信解市長が初登庁します。



市長初登庁セレモニーを以下のとおり実施いたします。

○日 時：令和8年2月5日（木）午前8時10分～午前8時20分

○会 場：本庄市役所 1階 市民ホール

○内 容：市長初登庁セレモニー

問合せ先

- | | | | |
|-------------|-------|-----|-----------------|
| ○本件記事に関すること | 企画財政部 | 秘書課 | 担当：石川 |
| | | | 電話：0495（25）1154 |
| ○広報全般に関すること | 企画財政部 | 広報課 | 担当：谷田部 |
| | | | 電話：0495（25）1155 |

本庄市高校生プロジェクト「七高祭」合同文化祭が 「第30回ふるさとイベント大賞（ふるさとキラリ賞）」を受賞

本庄市高校生プロジェクト「七高祭」合同文化祭が、（一財）地域活性化センター主催の「第30回ふるさとイベント大賞」で、ふるさとキラリ賞（選考委員会表彰）を受賞しました。

「ふるさとイベント大賞」は、全国各地の地域の活力を生み出すイベントを表彰し、全国に向けて紹介することにより、ふるさとイベントの更なる発展を応援するもので、大賞（内閣総理大臣賞）のほか最優秀賞（総務大臣表彰）など各賞が選考委員会で選出されます。今回で30回を迎え、第29回までに219の個性豊かなイベントを表彰しています。



【表彰式】

令和8年2月27日（金） ルポール麴町 ロイヤルクリスタル

【受賞内容】

「ふるさとキラリ賞（選考委員会表彰）」

本庄市高校生プロジェクト「七高祭」合同文化祭

【イベント概要】

市内の高等学校等に通う高校生が、学校や学年の垣根を越えて集まり、市民や地元企業等と連携して、市の魅力発信等に取り組むプロジェクトです。ワークショップやフィールドワークを通じて、地域の特性を知り、考え、その取組の成果を合同文化祭で発表します。また、合同文化祭では、市内高等学校が一堂に会し、部活動のステージパフォーマンスやブース出展等も行います。さらには、プロジェクトに参加した高校生が自身で「マチノブカツ」を立ち上げ、まちの人と関わりながら、卒業後も地域の魅力発信等に繋がる活動を続けています。

（※詳細は別添資料参照）

問合せ先

○本件記事に関すること

企画財政部 広報課 担当：福島、内田 電話：0495（25）1614

○広報全般に関すること

企画財政部 広報課 担当：谷田部 電話：0495（25）1155

【報道解禁】 令和8年1月26日(月) 14:00 以降

令和8年1月吉日

第30回ふるさとイベント大賞 各賞決定！

大賞(内閣総理大臣賞)は
「東京名物 神田古本まつり」(東京都千代田区神田)



地域活性化センターでは、各地域のイベントの創造・発展による地域活性化を目的とし、全国各地で数多く開催されている地域の活力を生み出すイベントを「ふるさとイベント大賞」として1996年に創設、表彰しています。この度、第30回の受賞8イベントが決定し、以下のとおり表彰式を開催いたします。

★表彰式★

日時: 令和8年2月27日(金) 10:00 ~ 11:30 (開場 9:45)

場所: ルポール麹町 ロイヤルクリスタル (東京都千代田区平河町2-4-3)

表彰式当日は、北川フラム選考委員長をはじめとする選考委員の皆様がプレゼンターとして出席し、受賞イベントの表彰を行う予定です。同時にYouTubeでライブ配信します。

※受賞団体への取材は12:30~13:30の間をお願いします。



※表彰式 YouTube ライブ配信はこちら
【URL: <https://youtube.com/live/e2KvR4QLUY4?feature=share>】

【問い合わせ先】

一般財団法人地域活性化センター 地域創生・情報広報グループ 地域創生課 担当: 竹村
TEL: 03-5202-6136 FAX: 03-5202-0755 E-mail: event@jcrd.jp
ホームページ: <https://www.jcrd.jp/>

●受賞イベント一覧

各賞	受賞イベント	自治体	主催団体
大賞（内閣総理大臣賞）	東京名物 神田古本まつり	東京都 千代田区	神田古書店連盟
最優秀賞（総務大臣表彰）	能代七夕「天空の不夜城」	秋田県 能代市	能代七夕天空の不夜城協議会
優秀賞(地域活性化センター会長表彰)	2025 千歳・支笏湖水濤まつり	北海道 千歳市	一般社団法人 国立公園支笏湖運営協議会
優秀賞(地域活性化センター会長表彰)	あやせ工場オープンファクトリー	神奈川県 綾瀬市	あやせ工場オープンファクトリー 実行委員会
優秀賞(地域活性化センター会長表彰)	トチオノアカリ	新潟県 長岡市	トチオノアカリ協議会
ふるさとキラリ賞（選考委員会表彰）	島の子ども応援まつり	沖縄県 石垣市	島の子ども応援まつり 実行委員会
ふるさとキラリ賞（選考委員会表彰）	本庄市高校生プロジェクト「七高祭」 合同文化祭	埼玉県 本庄市	本庄市広報課
選考委員特別賞（選考委員会委員長表彰）	関門海峡キャンドルナイト	福岡県 北九州市	関門海峡キャンドルナイト 実行委員会

●概要

全国各地の地域の活力を生み出すイベントを表彰し、全国に向けて紹介することにより、ふるさとイベントの更なる発展を応援するもので、大賞（内閣総理大臣賞）のほか最優秀賞（総務大臣表彰）など各賞が選考委員会で選出されます。今回で 30 回を迎え、第 29 回までに 219 の個性豊かなイベントを表彰しています。第 30 回の応募総数は 124 件、うち 8 つのイベントが受賞されます。

●応募対象イベント

令和 6 年 7 月 1 日から令和 7 年 6 月 30 日までに開催されたイベント

●選考委員会

- 【選考委員長】 北川 フラム 株式会社アートフロントギャラリー 代表取締役会長
- 【選考委員】 内原 智史 有限会社内原智史デザイン事務所 代表取締役
- 楓 千里 國學院大學観光まちづくり学部 教授
- 角田 光代 作家
- 中島 正信 全国知事会 事務総長
- 林崎 理 一般財団法人地域活性化センター 理事長
- 恩田 馨 総務省 大臣官房 地域力創造審議官
- 篠田 恵一 NHK コンテンツ制作局 制作主幹
- 吉本 光宏 合同会社文化コモンズ研究所 代表

「第30回ふるさとイベント大賞」実施要領

1 趣 旨

「ふるさとイベント大賞」は、全国各地で数多く開催されている地域の活力を生み出すイベントを表彰し、全国に向けて紹介することによって、ふるさとイベントの更なる発展を応援することを目的に設けられた賞です。

ふるさとイベントの創造・発展を促すことで、地域固有の風土・伝統・暮らしを守るとともに、地域に対する愛着と誇りを育み、内外との交流につながる地域の活性化を目指しています。

2 主催及び後援

主 催：一般財団法人地域活性化センター

後 援：総務省、内閣府、全国知事会、全国都道府県議会議長会、全国市長会、
(予定) 全国市議会議長会、全国町村会、全国町村議会議長会、地域づくり団体全国協議会、
日本商工会議所、全国商工会連合会、NHK、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、
全国地方新聞社連合会

3 対象イベント

令和6年7月1日から令和7年6月30日までに市区町村（広域を含む）で開催されたイベントとします。

※オンライン開催も対象とします。また、規模の縮小や内容の変更などがある場合でも、イベントを継続することで、そのイベントが本来持つ意味を伝えようと創意工夫を凝らしているものも含まれます。

以下のいずれかに該当するイベントは対象外とします。

①直近の5回（第25回～第29回）に大賞、最優秀賞等各賞を受賞したイベント

※第24回以前の受賞イベントは再応募することができます。（別紙1参照）

②継続性がなく1回の開催のみで終了するイベント

4 選考方法

応募用紙等をもとに、イベントプロデューサー、学識経験者などをはじめとした方々で構成される「第30回ふるさとイベント大賞」選考委員会において、選考基準（別紙2）に基づき審査を行い、各賞を決定します。

5 選考委員

「第30回ふるさとイベント大賞」選考委員は下記のとおりです。

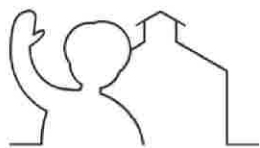
● 選考委員長	北川 フラム	アートディレクター
● 選 考 委 員	内原 智史	ライティングデザイナー
	楓 千里	國學院大學観光まちづくり学部教授
	角田 光代	作家
	吉本 光宏	合同会社文化コモンズ研究所代表
	篠田 恵一	日本放送協会コンテンツ制作局制作主幹
	中島 正信	全国知事会事務総長
	恩田 馨	総務省大臣官房地域力創造審議官
	林崎 理	一般財団法人地域活性化センター理事長

6 各 賞

● 大	賞（内閣総理大臣賞）	1 点
● 最 優 秀	賞（総務大臣表彰）	1 点
● 優 秀	賞（地域活性化センター会長表彰）	3 点
● ふるさとキラリ賞	（選考委員会表彰）	2 点
● 選考委員特別賞	（選考委員会委員長表彰）	1 点（該当がある場合のみ）

第30回 ふるさとイベント大賞 選考基準

	評 価 の ポ イ ン ト
企 画	・ 地域資源を積極的に活用している。 （地域資源：風土、産業、食文化、伝統文化、歴史、特産物、建築物・構造物など） ・ 独創性に溢れ、新たな地域の魅力を創り出している。 ・ 多くの人を惹きつける魅力がある。 ・ 魅力を増すための創意工夫が顕著である。
効 果	・ 地場産業の振興や観光客誘致など、経済的な波及効果がある。 （低予算でも波及効果が大きいなど） ・ 地域の知名度アップに貢献している。 ・ 地域住民の郷土意識の高揚に繋がっている。 ・ 伝統文化の継承や新しい文化の創造に繋がっている。
運 営	・ 地域住民が積極的に参加している。（参加することに誇りを持っている。） ・ 地域の内外を問わず、交流や連携が行われている。 ・ 継続して開催されており（継続される見込みがあり）、将来の発展性が見られる。



どこにでも行けるけど、
ここにいたい。本庄

広報ほんじょう

HONJO

まちを知るきっかけを作る情報紙

2025

4

別冊版：七高祭

本庄には、

七高祭
がある



本庄市高校生プロジェクト 2025 七高祭～ Colorful city with you ～

合同文化祭 2025.1.26 〈七高祭〉

初のカミケンシルクドームでの開催となった合同文化祭〈七高祭〉。ステージ発表やワークショップなど、盛りだくさんの1日を高校生たちは笑顔で駆け抜けました。



当日は約3,000人の方々に来場いただき、盛況のうちに幕を閉じた合同文化祭。

しかし「七高祭」はこの口1日だけではありません。合同文化祭に至るまで、高校生は、関わる大人たちとともに真剣に悩み、考え、地域に自ら足を運び、その過程自体が「まちの賑わい」となっていました。

そして、合同文化祭が終わった後も、その想いは失われずにまちの中で新たな賑わいを生んでいます。

◀これまでの七高祭、これからの七高祭を見よう！



詳しくは、
コチラ



そもそも高校生プロジェクトってなに？

市内には公立・私立を合わせて5つの高校と1つの特別支援学校（高等部）があり、人口規模に対して高校の数が多いことが市の特徴でもあり強みでもあります。市では、市内で学ぶ高校生を大切な地域資源と考え、平成20年から高校生プロジェクトを実施しています。

これまでの七高祭を振り返る



▲令和3年度：市の魅力発信冊紙の制作・写真展の開催



▶▼令和4年度：WEB上での合同文化祭、PR動画制作、広報紙制作



▲令和5年度：課題解決型プログラム・合同文化祭・産学官連携プログラムの実施

このまちに関わる人
すべてをつなぐ「場」

コロナ禍を経て令和3年度にプロジェクトが再始動してからは、「高校生」はもちろん「市民」、「学校」、「行政」が関わりながら、七高祭でしかできない地域連携活動を行ってきました。今では、それぞれがより広く、より深く関わりあうことで、まちの賑わいを生む交流の「場」となっています。

令和6年度は、地域の特性や魅力を知り、4つのテーマに対してワークショップやフィールドワークを行い、特性をいかす方法や魅力の発信方法を考える「地域連携プログラム」、高校生が企画・運営し6校が一堂に介して行う「合同文化祭」の2つを軸に、地元企業と連携して商品開発等に取り組む「地域コラボ企画」や、「マチノブカツ」など、学校と地域の垣根を越えた取組が行われました。

今年度実施したプロジェクト

合同文化祭 P03

高校生が主体的に企画・運営する6校での合同文化祭を開催しました。

日時：1月26日(月) 午前10時～午後4時
会場：カミケンシルクドーム

地域連携プログラム P04-05

地域の特性・魅力を知りワークショップやフィールドワークを経た成果を合同文化祭で発表しました。

1. 福祉の推進
2. 児玉地域の魅力発信
3. 児玉駅周辺の賑わい創出
4. スポーツの推進

地域コラボ企画 P06

「Bakerys Kitchen ohana」、「本庄農業女子」「NINOKURA」の皆さんと商品開発等に取り組みました。

マチノブカツ P07

昨年度高校生が立ち上げた「sustaina部」「ゲーム部」が合同文化祭にブースを設置、取組を発表しました。



令和6年度の七高祭は〈吉本興業株式会社〉

YOSHIMOTO の皆さんがサポート！

吉本興業所属の芸人の皆さんが約1年間、それぞれのプロジェクトに参加し高校生と伴走！笑いに包まれた和やかな雰囲気の中で、プロジェクトを導いてくれました。

03 児玉駅周辺 の賑わい創出

児玉ターミナル 2024 を開催！

今年も JR 東日本の皆さんと協力しながら、高校生たちは駅周辺を活用した賑わい創出イベント「児玉ターミナル 2024」の開催に向け、ワークショップやフィールドワークに取り組みました。

当日(10/20)は児玉駅周辺の魅力を知ってもらうために「謎解きスタンプラリー」



04 スポーツ の推進

関わってくれた方

田中 邦治さん

市グラウンドゴルフ協会 前会長



高校生にもグラウンドゴルフを体験してもらい、覚えがよく、教えが良かったです。ニュー・スポーツの参考になったのであれば、うれしいです。今回の体験をきっかけに、若い人にもグラウンドゴルフに興味を持ってもらいたいですね。

それぞれ取り組んだテーマは違えど、高校生たちはまちの賑わい創出について真剣に考え、そして実際にまちづくりの一助を担ってくれました。

プログラムをとおして見えた高校生の熱意は、まちの活気や賑わいにつながっています。

にぎ 無人駅に再び賑わいを

無人駅となった児玉駅周辺を「高校生のエネルギーで活気を取り戻したい！」と JR 東日本と協力し、駅周辺で賑わい創出イベントを実施した昨年度。地元の方たちや参加した高校生からの要望もあり、今年度も引き続き多くの方が楽しめるイベント開催に向け、皆でアイデアを出し合いました。



等を企画。同日開催の「児玉商工まつり」と合わせて、児玉駅周辺を回遊しながら楽しめるイベントとして、多くの方が参加しました。また、普段はシャッターが閉じたままとなっている旧改札窓口を開け、景品交換所として活用。訪れた地元の方たちは、シャッターが開いていた往時の懐かしさを感じていました。

関わってくれた方

飯塚 孝志さん

児玉商工会 事務局長

児玉駅周辺を高校生が実際に歩き、関わってくれたことで「高校生と交流できてよかった」という声も聞かれます。

何かに挑戦するとき、「高校生である」というのは、有効な武器だと思います。この武器でもって、地域の活力となってほしいですね。



皆で楽しめるニュー・スポーツを創る

本庄市が掲げる「市民・人1スポーツ」の理念のもと、高校生ならではの発想で「みんなが楽しく運動し、健康に過ごせるようなニュー・スポーツ」を新たに創ることに。高校生たちは、幅広い年齢層に楽しんでもらえるようフィールドワーク等を経ながら競技作りを試行錯誤しました。

高校生考案のユー・スポーツ「ビバルフ」&「BB（バンブボール）」フィールドワークやワークショップを経て、まず考案されたのがビリヤードとバターゴルフを合わせた「ビバルフ」。コーナーから外にボールを押し出すことで得点となり最終得点で競います。

また、「BB（バンブボール）」は、参加者が転がり落ちてくるボールをめがけてボールを投げ、ゴールを阻止するゲーム。



この2つのスポーツはスポレクフェスタ、合同文化祭の場で披露され、間口が広いながらも奥深い競技性に、参加者は熱中して楽しんでいました。

「考え方次第で誰でもスポーツを楽しめる」。この取組をとおして、高校生は誰もが健康に過ごしていくために不可欠なスポーツへの間口を広げてくれました。

地域の特性や魅力などを市民や行政とともに考え、探究・発信する「地域連携プログラム」。高校生らしいアイデアで、地域のために奔走しました。

地域連携プログラム

01 福祉 の推進

「福祉」をより身近に考えてもらう

福祉の推進には、地域の理解や協力が必要です。そのためには、少しでも「福祉」を身近に捉えてもらえるようにすることが大切と考えた高校生たち。自分たちには何ができるのかを考え、どのように伝えていくのがよいか、真剣に考えました。

劇で「福祉」の大切さをPR！

今回のプロジェクトでは、「おじいちゃん・おばあちゃんの毎日を支える福祉」をテーマに「高齢者福祉」に注目。

ワークショップやフィールドワークをとおしてどのような困りごとがあるのかを聞き、調べ、その解決方法を探りました。



行きついたのは寸劇。合同文化祭当日に「リプレイス〜助け合い〜」と題し劇を発表し、来場者向けに「助け合い」の大切さをわかりやすく伝えました。

どうしても固く捉えがちなテーマである「福祉」。しかし、高校生なりに親しみやすく伝えることで、観劇した方はより身近に「福祉」について考えることができた。

関わってくれた方

福田 浩二さん

本庄市社会福祉協議会

七高祭のような場合は、まちの人が関わることで、新しい魅力を発見できるなど、多くの可能性を秘めていると感じました。

そこに福祉の視点も取り入れることで、誰もが心地よく過ごせる、温かい地域になっていくのではないかと思います。



02 児玉地域 の魅力発信

私たちが捉えた児玉の素敵な魅力

学校生活の中だけでは、里山をはじめとした地域の魅力に気付けない高校生も多い。そうした中で高校生たちは、フィールドワークをとおしてそこで暮らす方と関わりながら、その魅力を実感！高校生ならではのアイデアで、捉えた魅力をどのように発信していくのが良いか、考えました。

関わってくれた方

片桐 正富さん

二松菴 元店主

わたしたちの件でいる地域は過疎化が進み、若い世代が少なくなってきました。

こうした中で高校生が地域に関わってくれるのはありがたいですね。

ぜひ、今後も高校生の豊かな発想をいかして、地域の魅力発信の担い手になってほしいです。



児玉の魅力を集めたアートとパンフレットを作成！

魅力を発信するために、まずは地域を知りたい！ということで実施したフィールドワークをとおして、地元の方たちと関わりながら魅力を実感した高校生たち。

その際に、地元の方の笑顔や美しい風景を目の当たりにした高校生たちは、それ自体を地域の魅力と捉え、撮影した写



真を使ったアートの展示と、パンフレットを作成し、合同文化祭で発表することとしました。

当日は、フィールドワークを通じてつながった地元の方もワークショップを行うなど、ブースは訪れた方で人盛況。高校生の捉えた児玉の魅力は、訪れた方に確実に届いていました。

マチノブカツ 「七高祭のその後」

令和5年度の七高祭で、高校生それぞれが興味のあるテーマで集まり作った「マチノブカツ」。
そこで生まれた「気付き」から始まった活動が地域に根付き、新たな動きを生んでいます。

「気付き」から、新たな「動き」へ



七高祭がなければ、本庄の人とは関わらず駅と学校の往復で終わっていたかもしれません。
3年間関わった七高祭は、私にとってさまざまな大人と関わり刺激を得ることのできる場であり、いろいろな発想を受け入れてくれる場でした。



秋山 友花さん
早稲田大学本庄高等学院

Chb 本庄（CCC 本庄）を立ち上げ、今まで活動を続けています。
これまで気付かなかったごみの多さに気付いたり、多様な価値観を持つ人と話したりするなど、CCC 本庄の活動はまちを知り、まちの人とつながり、そしてさまざまな人が関わるきっかけを作っています。
私たちでもできるかも、という高校生たちの「気付き」、その気付きが今、まちの中で新たな「動き」へとつながっています。

七高祭から、高校生自身の活動へ

令和5年度に立ち上がったマチノブカツのひとつ「sustaina 部」。一人ひとりがごみ問題を自分ごととして考え、それぞれのやり方でアクションを起こして欲しい、という思いのもと活動しています。
テーマについて考える中で、東京都内で行われているごみ拾い活動とコーヒータイムを組み合わせて、まちの人びとのつながりを生み出す「Cleanup Coffee Club」の存在を知り、秋山さんをはじめとしたメンバーが参加。その活動に感銘を受けた高校生たちで「Cleanup Coffee



今年初めて七高祭に参加しましたが、他校生、大人たち含めていろいろな人と接点をもてたのがうれしかったです。
地元は違いますが、いつも過ごしている本庄に七高祭が終わった後も CCC をとおして関わることができてよかったです。

大塚 隼平さん
早稲田大学本庄高等学院

「動き」が新たな「つながり」へ

今年初めて七高祭に参加した大塚さんは、1年間の活動をとおして、さまざまな人と関わる中で、さらに深く本庄に関わりたと思ったそう。
そんな時に CCC 本庄の存在を知り、その活動に自ら参加。CCC の活動について聞くと、「心の居場所のような感じがしました」と、笑顔で語ってくれました。
秋山さんたち sustaina 部がまちの中で始めた活動が、次世代の高校生たちと、まちの間に新たな「つながり」を生んでいます。



横瀬 隆さん
本庄高等学校 教諭

寄り添う先生から見た「七高祭」

1年間七高祭を生徒とともに参加させていただきました。
お互いに学年を明かさずにワークショップに参加していたことで、上下関係なくフラットに意見を交せていた姿がとても印象的でした。
また学生・民間・公的機関の距離がとても近く、お互いがより広く、より深く関わり意見を交しながらプロジェクトを進められていたので、「考えたことをしっかりと形にできていた」のが素晴らしいかと思います。

地元企業等と連携して商品開発等に取り組む「地域コラボ企画」。高校生ならではの「視点」と地域の方々の「知識」が混ざりあい、オリジナリティ溢れる商品が生まれました。

地域コラボ企画

Bakerys Kitchen ohana × 七高祭

七高祭オリジナルパン作り！

地域との関わりを大切に、地元生産者の皆さんとのコラボレーション商品も多数販売してきた ohana さん。
今回は七高祭とのコラボということ、高校生と一緒にオリジナルパンの作製に協力していただきました。
さまざまなパンのアイデアが出るなか



合同文化祭当日、売り場は大盛況！



で、最終的には本庄産プロコリーを使用した「プロコリーハヤシカレーパン」を合同文化祭で販売することに！
当日用意していた約350個のパンは、すぐに売り切れ。盛況のうちに販売終了となりましたが、その後、なんと ohana の店舗でもカレーパンを販売していただけることに！
高校生の想いとアイデアが生まれたカレーパンは、味わたった皆さんの身も心も「おいしさ」で満たしてくれました。



高校生独自の視点で商品企画を行う

自分たちでは気づかない、独自の着眼点で取り組んでくれて、楽しかったです。スタッフにとってもいい刺激になったので、機会があれば毎年一緒に取り組んでいきたいです。

久保田 浩司さん
Bakerys Kitchen ohana オーナー



本庄農業女子 × NINOKURA × 七高祭

日頃、高校生世代と交流することとはめったにないので、「農業に興味を持ちました」と言ってもらえてうれしかったです。
元氣よく先陣を切って取り組む生徒、物静かだけどフォローが万全な生徒など、それぞれができることを一所懸命に取り組んでいたのが印象深かったです。



牧野 涼子さん
こだまの丘農園まきの（本庄農業女子）

本庄野菜で「ベジフラワー」作り！

今年の七高祭では、本庄野菜の魅力を発信している「本庄農業女子」さんともコラボ！メンバーの牧野さんと高校生で、本庄野菜を使った美しいベジフラワー作りワークショップを合同文化祭の会場で行いました。



本庄野菜を使った「ななっこ」を販売！

また、NINOKURA の小林さんにもご協力いただき、本庄野菜をふんだんに使ったつまみこならぬ七高祭特製の「ななっこ」を高校生とともに考案。
新鮮な本庄野菜のうまみが濃縮された「ななっこ」はまさに絶品。合同文化祭では、来場した多くの方が舌鼓を打ちました。



本庄野菜のうまみがぎゅっとつまった「ななっこ」

新鮮な本庄野菜の魅力を余すことなく伝える

自ら考えて動く。そんな高校生の姿に、参加した自分自身がとても刺激を受けました。
七高祭のような場があることで民間・行政だけではできないことが実現できるのは、まちにとっても素晴らしいことだと思います。

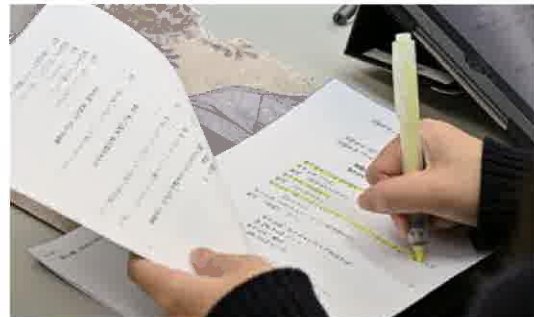
小林 由美さん
NINOKURA 蔵主



このまちに関わる人、 すべてをつなぐ「場」

「いろいろな発想を受け入れてくれる場だった」「七高祭のような場があることで、できないことが実現できる」「さまざまな人と関わることで刺激をもらった」。

七高祭に関わった方々とおして見えてきたのは、このまちに関わるすべての人をつなぐことで、賑わいを生む「場」としての七高祭の姿。本庄には、七高祭がある。これからも人と、まちをつないでいく。



いよいよ開催！高校生プロジェクト「七高祭」合同文化祭

令和7年度の本庄市高校生プロジェクト「七高祭（ななこうさい）」の合同文化祭は、「Connect～七つの色から虹へ～」をスローガンに、カミケンシルクドームで開催します。本庄の高校生の今が感じられる、「七高祭」合同文化祭をお楽しみに！



▲地域連携プログラムで高校生がフィールドワークを実施する様子



▲地域コラボ企画で高校生が本庄祇園まつりに参加した様子

日時 2月15日(日) 午前10時～午後4時

※ほんじょう Premium Strawberry Market 2026 と同時開催

会場 カミケンシルクドーム（本庄総合公園体育館）[本庄市北堀 433]

内容

◆地域連携プログラム成果発表

…「こどもまんなかの推進」、「児玉地域の魅力発掘」、「本庄の水道水」、「台湾・台南市との友好交流」の4つテーマごとに、フィールドワーク等を通じて地域の特性を知り、高校生ならではのアイデアで、まちの魅力を広く発信する方法を考えました。1年間の取組成果を、舞台やブースで発表します。

◆地域コラボ企画

…高校生が地元企業等と連携して実施した取組の成果を発表します。

連携先：武州本庄つみっこ研究会、本庄市社会福祉協議会、

本庄祇園まつり実行委員会、Bakery's Kitchen ohana

※オリジナル食品の販売や神輿の展示等を行います。

◆各学校の部活動によるステージ発表やブース発表

…演劇・軽音楽・箏曲・ダンス・書道パフォーマンス、物理部

◆その他

…各学校の展示発表や食品販売、本庄市広報観光大使コーナー、市民ライター、マチノブカツ（七高祭OB・OG）、ものづくりワークショップ、クイズ企画など



※別紙「七高祭」チラシもご覧ください。

※詳細情報は、以下からも発信しています。

▼本庄市ホームページ



▼七高祭公式Instagram



問合せ先

○本件記事に関すること

企画財政部 広報課 担当：福島、内田

電話：0495（25）1614

○広報全般に関すること

企画財政部 広報課 担当：谷田部

電話：0495（25）1155

本庄市内の高校が紡ぐ合同文化祭

七高祭



Connect ~七つの色から虹へ~

本庄市内の高校に通う高校生が主体となって活動する、本庄市高校生プロジェクト「七高祭」。今年も合同文化祭をカミケンシルクドームで開催します。皆さまのご来場をお待ちしております！

2026.2.15 (日)

本庄駅・本庄早稲田駅・児玉駅から会場まで無料バスが運行します。

10:00~16:00

**それぞれ異なる
色を持った高校が、
七高祭で一つに集まる**

今年のスローガンは、【Connect~七つの色から虹へ】
それぞれ異なる色を持った高校が、七高祭で一つに集まる。
まちに関わる人とのつながり『Connect』が、地域と未来へ架かる
『虹』となるようにという思いが込められています。
※この高校生プロジェクトの名称は、高校生の意見を尊重し「七高祭」としています。

参加高校

県立児玉高等学校

県立本庄特別支援学校高等部

県立本庄高等学校

本庄東高等学校

本庄第一高等学校

早稲田大学本庄高等学院



七高祭



Connect ~七つの色から虹へ~

実施内容

- ・七高祭参加高校生による地域のテーマに取り組んだ成果発表のステージ、ブース!
- ・市内高校の部活動の発表、ブース!
- ・地域事業者と高校生のコラボ企画!
つまっこやオリジナルパンを販売します!
- ・本庄市広報観光大使のトークイベント!
- ・景品が当たるクイズ企画!
楽しいクイズラリーやワークショップを実施します!
- その他、多数の企画をご用意しております!

部活動ステージ

本庄東高等学校
・演劇部・書道部
・箏曲部・ダンス部

県立本庄高等学校
・軽音楽部・物理部

その他の出店ブース

市民ライター
マチノブカツ
もの作りワークショップ

地域連携プログラム

こどもまんなかの推進
児玉地域の魅力発掘
本庄の水道水
台湾・台南市との友好交流

地域コラボ企画

武州本庄つまっこ研究会
本庄市社会福祉協議会
本庄祇園まつり
Bakery's Kitchen ohana

会場 カミケンシルクドーム
(本庄総合公園体育館)

住所: 埼玉県本庄市北堀433

※本庄早稲田駅から車で約4分、本庄駅から車で約15分



※会場内は土足厳禁です。室内履きをご持参ください。
入場時に下足袋をお渡しします。

※本庄駅・本庄早稲田駅・児玉駅から
会場まで無料バスが運行します。

七高祭 instagram
@honjo_koukousei_pj



どこにでも行けるけど、
ここにいたい。本庄
市制施行20周年



本庄市特産
「あまりん」

ほんじょう
Premium Strawberry Market
同時開催!

主催...七高祭実行委員会事務局(広報課内)
0495-25-1614

協力...株式会社JTB熊谷支店



ステージスケジュール		
時間	発表内容	備考
10:00~	七高祭開始	七高祭参加高校生
10:05~10:10	開会式 市長挨拶	市長
10:15~10:45	本庄東高等学校 箏曲部	本庄東高等学校 箏曲部
11:05~11:25	本庄東高等学校 書道部	本庄東高等学校 書道部
11:30~11:40	本庄市社会福祉協議会	七高祭地域コラボ企画
11:40~11:50	こどもまんなかの推進チーム	七高祭地域連携プログラム
11:50~12:00	児玉地域の魅力発掘チーム	七高祭地域連携プログラム
12:00~12:30	本庄市広報観光大使トークショー	佐々木琴子さん、杉原凛さん、ピクサー・タンさん、森本真敏さん(五十音順)
12:30~12:40	マチノバカツ sustaina部	マチノバカツ
12:40~13:20	本庄東高等学校 演劇部	本庄東高等学校 演劇部
13:30~13:40	本庄紙園まつり実行委員会	七高祭地域コラボ企画
13:40~13:50	本庄の水道水チーム	七高祭地域連携プログラム
13:50~14:00	台湾・台南市との友好交流チーム	七高祭地域連携プログラム
14:20~14:50	県立本庄高等学校 軽音楽部	県立本庄高等学校 軽音楽部
15:10~15:25	本庄東高等学校 ダンス部	本庄東高等学校 ダンス部
15:30~15:50	七高祭クイズ大会	七高祭参加高校生
15:55~16:00	閉会式	七高祭参加高校生



七高祭ホームページ



七高祭インスタグラム

企画財政部 広報課

外線：25-1614

内線：3154

日本道路株式会社と包括連携に関する協定を締結

本庄市は、日本道路株式会社と相互に連携し、地域の発展や市民サービスの向上を推進するため、「本庄市と日本道路株式会社との包括連携に関する協定」の締結を行い、協働による活動を推進します。

【協定について】

目 的 本庄市と日本道路株式会社は相互に連携及び協力して、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進することにより、一層の市民サービスの向上と市民の健康的な生活を実現することを目的とする。

内 容

- （１）まちづくりに関すること
- （２）健康づくりに関すること
- （３）スポーツ振興に関すること
- （４）スポーツ環境の安全に関すること
- （５）こども、青少年の健全育成に関すること
- （６）その他

【締結式について】

日 時：２月５日(木) 午後２時～

会 場：本庄市役所３階庁議室

締結先：日本道路株式会社

※取材を希望される場合は、２月２日(月)午後５時までに別紙１）取材申込書でお申し込みください。

○添付資料 包括連携に関する協定書 １部

問合せ先

○本件記事に関すること 市民生活部 市民活動推進課 担当：真下

電話：０４９５（２５）１１１８

○広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：谷田部

電話：０４９５（２５）１１５５

FAX送信票

取材申込書

令和8年 月 日

宛	本庄市役所 市民生活部 市民活動推進課 行
先	FAX 0495-22-0602

2月5日(木)

本庄市と日本道路株式会社との包括連携に関する
協定締結式の取材を申し込みます。

社 名	
ご担当者名	
人 数	
連絡先（電話）	

※ 2月2日(月)午後5時までにお申し込みください。

【担当】

本庄市役所 市民活動推進課
担当：真下
電話：0495-25-1118（直通）

本庄市と日本道路株式会社との包括連携に関する協定書

本庄市（以下「甲」という。）と日本道路株式会社（以下「乙」という。）は、以下のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲及び乙が相互に連携及び協力して、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進することにより、一層の市民サービスの向上と市民の健康的な生活を実現することを目的とする。

（連携事項）

第2条 甲及び乙は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携及び協力をする。

- (1) まちづくりに関すること
- (2) 健康づくりに関すること
- (3) スポーツ振興に関すること
- (4) スポーツ環境の安全に関すること
- (5) こども、青少年の健全育成に関すること
- (6) その他、甲及び乙が協議し必要と認めること

2 甲及び乙は、前項各号に掲げる事項の具体的な協力内容については、甲乙合意の上、決定する。

3 甲及び乙は、第1項各号に掲げる事項を効果的に実施するため、協議を行うものとする。

（協定内容の変更）

第3条 甲又は乙のいずれかが、本協定の内容の変更又は解除を申し出たときは、その都度協議の上、必要な変更又は解除を行うことができるものとする。

（守秘義務）

第4条 甲及び乙は、第2条に定める連携事項の検討・実施により知り得た情報を、相手方の承諾なしに、第三者に開示又は提供等してはならず、かつ、本協定の目的外に使用してはならない。

2 甲及び乙は、本協定を廃止した後も、前項に定める守秘義務の責務を負うものとする。

（有効期間）

第5条 本協定の有効期間は、協定締結の日から令和8年3月31日までとする。ただし、有効期間満了の1か月前までに、甲及び乙のいずれからも申出がない場合は、当該期間満了の日の翌日から1年間、本協定を更新するものとし、以後もまた同様とする。

（協議）

第6条 本協定に定めのない事項又はこの協定に定める事項に関し疑義等が生じた場合は、甲乙協議の上、決定するものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙署名捺印の上、各自1通を保有するものとする。

令和8年2月5日

甲 埼玉県本庄市本庄3丁目5番3号

本庄市

本庄市長

乙 東京都港区芝浦1-2-3 シーパンスS館7階

日本道路株式会社

代表取締役社長

令和７年度本庄市安全安心まちづくり研修会を開催

「犯罪のないまち本庄市」を目指し、本庄市安全安心まちづくり研修会を開催します。本研修会は、条例等に基づき毎年開催するものです。近年では、防犯に関する内容を中心に、交通安全や防災などの分野も取り入れ、「安全で安心して暮らせるまち」をテーマに、広く知識の共有を図っています。



今年度の研修会では、交通安全と防災、そして防犯に関する研修を実施します。交通安全については、今年４月より導入される自転車の交通反則通告制度について、埼玉県警察の講話をお送りします。防災分野では、災害時にも使える応急手当に関する講話を消防本部よりお送りします。そして、防犯については、地域で実施可能な防犯対策についての講話を、犯罪心理学の専門家である東洋大学社会学部教授、桐生正幸氏よりお送りします。

○日 時：１月３１日（土） 午前１０時～正午

○会 場：本庄市児玉文化会館セルディ（本庄市児玉町金屋７２８－２）

○内 容：あいさつ 本庄市長、本庄市議会議長、本庄市自治会連合会長

講 話 （１）「令和８年４月からの自転車の交通ルール」

（２）「災害時にも使える応急手当」

（３）「地域でできる防犯対策」

○参加者：２００名（予定）

各種防犯団体関係者、各種交通安全団体関係者、一般市民

○その他：トイレ：有。駐車場：有（約２００台）。

問合せ先

○本件記事に関すること 市民生活部 危機管理課 担当：齊藤、木村、熊谷

電話：０４９５（２５）１１８４

○広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：谷田部

電話：０４９５（２５）１１５５

中山道本庄宿保存活用シンポジウム

現在の、ＪＲ本庄駅の北側一帯の地域は、江戸時代には中山道の本庄宿が置かれ、大いに栄えました。この地域は、古くから水運・陸路などによる交通の要衝であり、また、明治時代に入ってから養蚕や製糸産業によって大いに発展しました。

この本庄宿周辺には、そうした発展の歴史を物語る建造物・古文書・埋蔵文化財・天然記念物など多くの文化財が残されており、将来の世代に大切に保存していくと共に、その価値を広く市民に伝えていく必要があります。

今回のシンポジウムは、本庄宿や建造物に詳しい講師による講演とともに、令和７年度に実施している本庄宿に関する企画の経過報告を行い、後半には参加者を交えて今後の本庄宿の保存・活用についてのヒントを探ります。

令和７年度 本庄市文化財保存活用シンポジウム

中山道本庄宿の歴史と未来を語る

～建造物調査速報と文化財の保護・活用～

○日 時：２月１日(日) 午後１時開場、午後１時３０分開演

○会 場：本庄市役所６階大会議室

○内 容：講師による講演、建造物調査の成果速報、参加者の意見交換

○その他：事前申し込み不要・参加費無料

※ 参加者には、オリジナルの「中山道重ね押しスタンプ」のポストカードをプレゼントします。５色のスタンプをカードに押すことで１枚の絵が完成します。

○添付資料 （案内チラシ １部）

問合せ先

○本件記事に関すること 教育委員会事務局 文化財保護課 担当：的野

電話：０４９５（２５）１１８６

○広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：谷田部

電話：０４９５（２５）１１５５

令和7年度 本庄市文化財保存活用シンポジウム

中山道本庄宿の歴史と未来を語る ～建造物調査速報と文化財の保護・活用～

事前申込み不要・参加無料

本庄宿に残る文化財（歴史的な建物や土木構造物、樹木など）を守りながら未来に向けて活用する方法などについて皆さんと考えるシンポジウムです。

江戸後期の本庄宿の様子や、現在もみられる歴史的な建物の特徴などについて紹介するとともに、皆さんと意見交換をしながら、文化財の良いところを発信したり、活用したりするヒントを探ります。



日時：

令和8年 2月 1日 日

開演 13時 30分
(開場 13時 00分)

会場：

本庄市役所 6階大会議室
(〒367-8501 本庄市本庄3丁目5-3)

【プログラム】

13:30 開演

13:35 講演

- 講演①「江戸時代後期の本庄宿を探る」
秋山 寛行（本庄早稲田の杜ミュージアム 学芸員）
- 講演②「現代に残る歴史的な建築物とその特徴」
梅嶋 修（長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 助教）

14:35 休憩

14:45 町並み・建造物調査の成果速報

15:05 参加者の意見交換

15:30 閉会

参加者には、中山道重ね押しスタンプのポストカードをプレゼントします。

ほんじょう Premium Strawberry Market 2026 を開催

本庄産あまりんの魅力を市内外に発信し、本市農業全体をPRすることを目的として「ほんじょう Premium Strawberry Market（プレミアムストロベリーマーケット）2026」を開催します。



本市は、埼玉県オリジナル品種のいちご「あまりん」の作付面積において県内１位の実績を誇り、令和７年２月に日本野菜ソムリエ協会主催の「第３回全国いちご選手権」で本庄産あまりんが最高金賞を受賞するなど、全国的に注目を集めています。

今年度で３回目の開催となるこのイベントは、１月１３日（火）から実施している「いちご・いちえ あまりんデジタルスタンプラリー」のスタンプスポットとなる等、一連の企画として開催されます。

○日 時：２月１５日（日） 午前１０時～午後２時

※荒天中止。本庄市高校生プロジェクト「七高祭」合同文化祭と同時開催

○主 催：埼玉産直センター・本庄市の共催

○会 場：カミケンシルクドーム（本庄総合公園体育館） 玄関前

○交 通：電車 本庄早稲田駅（新幹線）、本庄駅（ＪＲ高崎線）

バス 本庄駅南口発 寄居車庫行き 栗崎下車 徒歩１０分
車 無料駐車場あり

○内 容：本庄産あまりん等の販売、本庄産農産物の販売、飲食店の出店

※購入制限を設ける場合があります。商品の配送は行いません。

○その他：トイレ 有

○添付資料 チラシ １部

問合せ先

○本件記事に関すること 経済環境部 農政課 担当：飯島・小田

電話：０４９５（２５）１１７７

○広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：谷田部

電話：０４９５（２５）１１５５

甘〜いイチゴとの一期一会を楽しもう

いちご いちえ

ほんじょう Premium Strawberry Market

2026.2.15 SUN

あまりんがあふれる大人気イベント。

本庄産農産物や、本庄産あまりんを使ったスイーツなども大集合！

あまりん大集合！



あまりんの購入には「**引換券**」が必要です。
引換券は、イベント当日に「**引換券配布所**」
でお渡しします。ただし、引換券は数に限り
があり、なくなり次第終了となります。
引換券を持参し、**午後1時半まで**にあまりん
販売ブースにお並びください。

出店情報など
詳しくは
こちら！



日時：2月15日（日）午前10時～午後2時 ※荒天中止

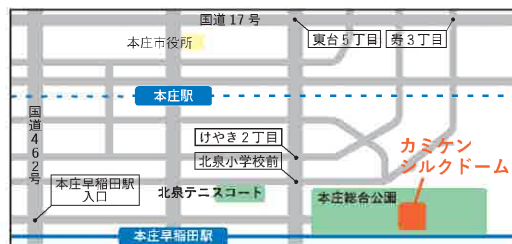
会場：**カミケンシルクドーム（本庄総合公園体育館）** 玄関前
（本庄市北堀 433）

内容：本庄産あまりんの販売、本庄産農産物の販売、飲食店の出店
※購入制限を設ける場合があります。商品の配送はできません。

共催：本庄市・埼玉産直センター

※画像はイメージです。

問合せ ☎0495-25-1177（本庄市農政課）この事業は埼玉県ふるさと創造資金を活用しています。



- 電車：最寄駅 本庄早稲田駅（新幹線）、本庄駅（JR高崎線）
- バス：本庄駅南口発 寄居車庫行き 栗崎下車 徒歩10分
- 車：無料駐車場あり

八幡神社「節分祭」

この祭事は、児玉八幡神社の節分祭として、例年地域にお住まいの皆さまが柵受けに訪れます。柵受けに訪れた際は、拝殿に昇って神官のお祓いを受け、神殿より福柵、八幡神社古来よりの伝承に基づく「廿延命杓文字（にじゅうえんめいしゃもじ）」を受けます。

また、ハズレなしの福引きがあり、福景品が当たります。年男（ここでは家主の意）による追儼祭（ついなさい）が執り行われます。



（豆撒きの様子）



（福柵と廿延命杓文字）

- 日 時：2月3日(火) 午前8時～午後6時
- 場 所：〒367-0212 本庄市児玉町児玉 198 八幡神社
- 交 通：関越自動車道 本庄児玉 IC から 5.4km（車で 12 分）
JR 八高線 児玉駅から 850m（徒歩で 10 分）
- 内 容：柵受け 2,000 円（福柵、福豆、御札、厄除箸、廿延命杓文字、福引券）
年男追儼祭式典（御祈禱・豆まき・宝撒き）
[第 1 回目：午後 3 時 20 分～、第 2 回目：午後 4 時 20 分～]
- その他：トイレ あり 駐車場 あり（約 10 台）
- 問合せ：八幡神社社務所 0495-72-2656

○添付資料 案内図 1 部

問合せ先

- 本件記事に関すること 経済環境部 支所環境産業課 産業係 担当：前川
電話 0495（72）1334
土日 0495（72）1331
- 広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：谷田部
電話 0495（25）1155



交通案内① … 国道 462 号からお越しの場合

児玉町市街地(国道 462 号)をそのまま直進。

【仲町】交差点を県道 175 号線方面へと約150m
直進すると左手側に八幡神社。

【児玉駅入口】交差点

県道 191 号線

交通案内② … JR 八高線／徒歩でお越しの場合

JR 八高線 児玉駅を下車。

駅前通り線(県道 191 号線)を西方向へと直線し、

【児玉駅入口】交差点を左折して国道 462 号へ。

【仲町】交差点より県道 175 号線方面へ約150m
直進すると左手側に八幡神社。

【仲町】交差点

八幡神社

令和8年

節分祭

白鳩峯東石清水八幡神社

2月3日(火)
午前8時～午後6時



福枿受厄除祓 初穂料2000円

(福枿 福豆 御札 厄除箸 廿延命杓 文字福引券)

※午後3時～4時30分は招待者のみ

宝撒き

(福餅やお菓子を境内に撒きます)

①午後3時20分頃 ②午後4時20分頃

開運甘酒

(境内にて無料で甘酒をお配りします)



白鳩峯東石清水
八幡神社

本庄市鬼玉町鬼玉198
TEL0495-72-2656

雉岡城発掘現場見学会を開催

本庄市児玉町八幡山に位置する雉岡城跡。かつて戦国時代初期に関東管領山内上杉氏により築られました。今でも城内に大規模な土塁や堀が残されている埼玉県指定文化財です。

前年度に引き続き、発掘現場見学会を開催します。今回の現場見学会では、ゲスト講師として山城ガールむつみさんをお招きし、現場説明会と並行して、山城ガールむつみさんによるガイドツアーも開催します。

雉岡城
発掘現場見学会 2.14
特選の第二弾!!

本庄市児玉町八幡山に位置する雉岡城跡。かつて戦国時代初期に関東管領山内上杉氏により築られました。今でも城内に大規模な土塁や堀が残されている埼玉県指定文化財です。令和7年度より本格的な発掘調査を開始し、令和7年度も引き続き調査を行っています。

今回の発掘現場見学会では、ゲスト講師として山城ガールむつみさんをお招きし、ガイドツアーを開催します。

【選べる二つの見学会 同時開催】

【場所】 雉岡城跡（本庄市児玉町八幡山446）
【日時】 2月14日（土） 参加費無料 / 駐車場無料

山城ガールむつみさん
ガイドツアー
（各回 先着20名）
城跡を歩きながらご案内
①11:00～ ②14:00～
所要時間 約60分

調査員による現場説明
（人数制限なし）
令和7年度の発掘調査の成果を解説
①11:00～ ②14:00～
所要時間 約30分

ゲスト講師
山城ガールむつみさん

○日 時：2月14日(土)

①午前11時～ / ②午後2時～

○主 催：本庄市教育委員会

○会 場：雉岡城跡（児玉町八幡山 446）

○開催内容（同時開催）

・山城ガールむつみさんガイドツアー

所要時間：約60分 定員：先着20名

・調査員による現場説明

所要時間：約30分

○対 象：どなたでも

○費 用：無料

○用 意：動きやすい服装・靴

○申 込：不要（直接会場へ）

○交 通：JR 八高線「児玉駅」下車 徒歩10分
国道462号「長浜町」交差点より900m

○その他：トイレ 有（城跡南東側隅角）
駐車場 有（児玉中学校南側）

○添付資料 雉岡城発掘現場見学会チラシ 1部

問合せ先

○本件記事に関すること 教育委員会文化財保護課 担当：埋蔵文化財係

電話：0495（72）6841

○広報全般に関すること 企画財政部広報課 担当：谷田部

電話：0495（25）1155

いざ！

雉岡城

県指定史跡

きじおかじょう



発掘現場見学会 2026 2.14_土

待望の第二弾！！

本庄市児玉町八幡山に位置する雉岡城跡。かつて戦国時代初期に関東管領山内上杉氏により築かれました。今でも城内に大規模な土塁や堀が残されている埼玉県指定文化財です。令和6年度より本格的な発掘調査を開始し、令和7年度も引き続き調査を行っています。

今回の発掘現場見学会では、ゲスト講師として山城ガールむつみさんをお招きし、トークツアーを開催します。



ゲスト講師

山城ガールむつみ さん

[選べる二つの見学会 同時開催]

[場所] 雉岡城跡 (本庄市児玉町八幡山 446)

[日時] 2月14日(土) 参加費無料 / 事前申込不要



山城ガールむつみさん

トークツアー

(各回 先着20名)

城跡を散策しながらご案内

①11:00 ~ ②14:00 ~

所要時間：約 60 分



調査員による現場説明

(人数制限なし)

令和7年度の発掘調査の成果を解説

①11:00 ~ ②14:00 ~

所要時間：約 30 分

※受付は開始時刻の15分前から。先着順でご案内します。

※駐車場は児玉中学校南側をご利用ください。

※荒天・中止の場合には市HPでお知らせします。

※徒歩で移動しますので、動きやすい服装・足元でお越しく下さい。

問い合わせ先：本庄市文化財保護課埋蔵文化財係 0495-72-6841 bunkazai@city.honjo.lg.jp





歴史や城をテーマにしたイベントやツアー、講演講座を多数手がけ、執筆業、ガイド業、御城印のプロデュースなどを行っている。産経新聞にて、城コラム連載中。歴史と城を生かした町おこし、地域活性化にも取り組んでいる。<https://www.rekitoki.com/>



○電車 … JR八高線 児玉駅より 750m 徒歩 10 分
○車 … 国道 462 号「長浜町」交差点より 900m
車の場合は、児玉中学校南側の駐車場（無料）をご利用ください。